

聖書の集い（第3回）

2014年7月9日

古本 靖久

- 1、聖歌 487番 「重荷背負う人に」
- 2、お祈り
- 3、聖書 「マタイによる福音書 11章25節～30節」
(新約聖書 20 ページ)

4、今日の内容

① 自分のことは自分で —責任の法則—

今回は、自分のことは自分で、という聞き様によっては少し厳しいお話です。子どもたちは生まれて間もない頃、すべての事を親や周りの大人たちに頼って生きてきました。ご飯(最初はミルクですが)を食べるのも、どこかにお出かけするのも、お風呂に入るのも、そしてベッドでゆっくりと眠る時も。すべての時に、傍らには母親がいて、目を見つめ、手を握り、いつも一緒にいた存在、それが赤ちゃんでした。

それが、いつの間にか大きくなって、幼稚園で毎日過ごすようになりました。最初は門の所で泣いて離れなかった子どもも、いつしか振り返りもせず駆けていく。うれしくもあり、でもちょっぴり寂しい。そのような思いを持たれる方もおられるのではないのでしょうか。

子どもたちは成長する中で、自分に起こる問題の多くは自分に責任があり、他の誰にも代わってもらえないことを知る必要があります。当然、子どもたちの手に負えないことはたくさんあります。また成長には個人差がありますから、周りの子どもが自分でしていることを、すべて押し付ける必要ありません。でも、わたしたちは自分たちが引き受けてきた子どもたちの「荷物」を、徐々に子どもたち自身に負うように、学ばせていかなければならないのではないのでしょうか。

しかし子どもが自分自身の「荷物」を負うことは、子どもが自ら選択しておこなうことではなく、周りの大人がそのように仕向けることです。例えば、子どもが自分で飲み物をコップに入れようとして、こぼしてしまったとします。そのとき、どう対応しますか。すぐに雑巾を取りに言って拭いてあげるのでしょうか。それとも雑巾のある場所を指示して、自分で拭くように言うのでしょうか。

子どもがほかの子どもと喧嘩してしまって相手を怪我させてしまったとします。そのとき、どう対応しますか。子どもの見ている前で、相手の親にひたすら謝りますか。子どもにまず、謝らせますか。

子どもたちはそれぞれ違った環境で成長しています。ですから「これが正しい」という正解はありません。ですが、子どもたちの成長を見ている中で、この「荷物」は今、この子に負わせるべきなのだろうか、それともまだ、自分が代わって負うべきなのだろうか、考えていきたいと思います。

さて、ここで「荷物」という言葉について考えてみたいと思います。最初に読んだ聖書には「重荷」という言葉が出てきました。さらにほかの聖書の箇所にはこのような言葉もあります。

めいめいが、自分の重荷を担うべきです。(ガラテヤの信徒への手紙 6章5節)

自分に何か問題が起こってきたときに、その責任をほかの人に押し付ける、つまり「荷物」を放り投げて、自分で負うこともなく生きていく。そうならないために、何か問題が起きたときに、子どもたちが自分の身を振り返り、その責任が自分になかったのか考える習慣が必要なのです。

たとえば、友達が意地悪する時に、その友達の性格が悪いとすぐに思わずに、自分はその友達を傷つけるようなことをしていないか考える。テストの点が悪かった時に、先生が悪いと思わずに、ちゃんと勉強していたかどうか思い出す。

子どもたちはなかなか感情と行動との間にワンステップをとって考えることができません。だからこそ、神さまは子どもたちにわたしたち親を与えられ、子どもを導き育てるという役割をお与えになりました。わたしたちは子どもたちに、感情からすぐに行動に移すのではなく、一度よく考えて行動することを教えたいものです。

最後に、今日最初に読んだ聖書に戻ります。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」。この言葉は、「自分の荷物を持つように」という今回の話とは矛盾するのように感じるかもしれません。しかし、子どもたちは自分が負うことのできる荷物の大きさを知ること、自分だけでは出来ないことがあることに気づいていきます。それはわたしたち大人にとっても同じことです。

子どもたちに、自分の荷物を持たせてあげてください。でも一人で負いきれない時には、お母さんやお家の方、たくさんの周りの人たち、そして神さまがいつでも一緒に負ってくれることを、どうぞ伝えてください。神さまはいつでも「休ませてあげよう」と言ってくれます。子どもたちに対しても、そしてわたしたちに対しても。

<教会キャンプのご案内>

8月11日(月)～13日(水)、滋賀県北小松キャンプ場でおこないます。
水泳、すいか割り、キャンプファイアー、バーベキューなど、楽しく過ごします(天気が良ければ、満天の星空を見ることができます)
申込はお気軽に!

<テキストのご紹介>

「聖書に学ぶ 子育てコーチング」
ヘンリー・クラウド、ジョン・タウンゼント共著、中村佐知訳
発行：あめんどう 定価 2,000 円＋税

<ホームページのご紹介>

「桃山基督教会ホームページ」
<http://momoyama.hannari.com/>
(ももやまドットはんなりドットコム) ※nは3つ

トップページ → 右上の「メッセージ」をクリック
→ 聖書の集いの該当箇所をクリック

<教会学校・はとぼっぼクラスのご紹介>

「教会学校」
毎週日曜日 午前9時30分～午前10時
「はとぼっぼクラス」
毎月第2日曜日 午前10時～正午

<大人の礼拝のご案内>

「大人の礼拝」
毎週日曜日 午前10時30分～正午
どなたでもお気軽にご参加ください